

JSAF 派遣生 留学レポートより

先輩はサンディエゴ州立大学でこんな授業を受けています！

San Diego State University(アメリカ・カリフォルニア州) | 2025 年秋派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、サンディエゴ州立大学へ派遣された先輩の留学レポートから、履修した全科目を授業内容や先輩のリアルな感想とともに紹介します。経済学部先輩は、ファイナンスや経済学に加えて、地理・歴史・コミュニケーション・キャリアなど幅広い分野に挑戦。秋学期はレクチャー型の授業で大学生活に慣れ、春学期はディスカッションのある授業を意識して選ぶという、メリハリのある履修が特徴です。

◆ 先輩レポート 経済・ファイナンスからアメリカ史まで、1 年間で 8 科目に挑んだ先輩

在籍：成蹊大学 経済学部 現代経済学科(3 年・認定留学・2025 年秋派遣)

秋学期は「まずアメリカの大学に慣れること」を意識してファイナンス、経済学、世界地理、アメリカ史のレクチャー型 4 科目を履修。春学期は会話量を増やすためディスカッションのある授業を意識し、英語コンポジション、キャリア、コミュニケーション、数学の 4 科目に取り組みました。

— 秋学期 —

FIN250 Financial Literacy(3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 50 人。留学生は 1 割ほどで、日本人は先輩を含めて 2 名
評価方法	中間試験 2 回＋期末試験＋課題(1000 点満点。課題が全体の 4 割を占める構成)
どんな授業？	ファイナンスに関する基礎知識を徹底的に学ぶ授業です。株や債券、不動産といった投資の話題が中心で、投資商品ごとの種類やリスク、特徴を学ぶことができます。
先輩の声	将来に非常に役立つ内容だと感じた一方、課題がとにかく多く苦労しました。試験は課題よりも教科書から出題されるため、課題をこなしながら教科書も隅々まで読む必要があり、履修した 4 科目の中で圧倒的にこの科目に勉強時間を割きました。

ECON101 Principles of Economics(3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 100 人。留学生は 3 人で、日本人は先輩のみ
評価方法	試験 4 回のうち高得点 3 回分が 60%、課題 30%、出席 10%
どんな授業？	マクロ経済の基本的な構造を学ぶ授業です。時々アメリカ経済を取り上げたり、少し専門性の高い内容に踏み込んだりすることもあります。
先輩の声	経済学部なので内容は 1・2 年の復習という感覚でしたが、アメリカ経済の話は面白かったです。教授は人柄が良く質問にもよく答えてくれました。定期試験前の授業には復習回があり、そこで出たスライドの問題を対策すれば得点しやすい科目だと感じました。

GEOG106 World Regional Study(3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 50 人
評価方法	定期テスト 3 回 + 毎週の課題 + 小テスト 3 回 + 出席点 (600 点満点)
どんな授業？	世界地理の基本を学ぶ授業です。大陸や地域ごとにフォーカスし、それぞれの基本的な歴史や産業を取り上げていきます。
先輩の声	アメリカの学生の視点から日本について学ぶことができ非常に面白かったです。日本の少子高齢化が加速していることが世界にも知られているのだと驚きました。

HIST109 American History to Reconstruction(3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 70 人
評価方法	課題 7 回 35% + ライティングエッセイ 2 本 30% + 期末試験 30%
どんな授業？	先住民が住んでいた建国前の時代から、南北戦争や市民権運動まで、アメリカ史の全体的な流れを学ぶ授業です。授業で取り上げられた画像やイラストを説明するライティングエッセイもあり、文字だけでなく視覚的な情報からもアメリカ史を学べます。
先輩の声	アメリカ史を学びたいという好奇心で履修し、科目番号が 100 番台なので入門レベルだと思っていましたが、専門用語や情報量が非常に多く、処理に大量の労力を使いました。スライドが配布・公開されない授業だったため、授業中は多くの学生がスライドを打ち込むのに追われ、教授の話を聞くのが難しかったです。

— 春学期 —

LING100B English Composition for Multilingual Students II(3 単位)	
履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャーとディスカッションの中間
クラス規模	約 20 人。英語のクラスなので全員留学生で、3 分の 1 が日本人
評価方法	ペーパー 3 本 + 中間・期末試験 + 毎回の課題
どんな授業？	ライティング、リーディング、ディスカッションとやることが多く、総合的な英語力を鍛えられる授業です。
先輩の声	ライティングとリーディングの課題が多く苦労しました。ただ日本の授業と違って途中でディスカッションがあったり、先生が何度もライティングの振り返りをくれたりするので、気軽にトライできる環境が良かったです。

CSP240 Career Development and Life Design(3 単位)

履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 20 人
評価方法	出席+キャリアに関するレポート課題 3 本+プレゼンテーション 1 回
どんな授業？	「キャリアとは何か」というマクロな部分から、具体的な就職活動のコツといったミクロな部分まで学べる授業です。
先輩の声	留学中に履修した授業の中で一番楽しかったです。毎回ディスカッションがあり、面接の練習やケーススタディを英語で行うことで英語力を鍛えられたうえ、帰国後の就活に使える内容が多く充実していました。

COMM201 Communication and Community(3 単位)

履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 40 人
評価方法	毎回の授業後クイズ+レポート 2 本+グループワーク 1 回+期末試験
どんな授業？	コミュニケーションを学問として体系的に学ぶことができる授業です。
先輩の声	「コミュニケーション」というタイトルだったのでディスカッションやグループワークが多いのかと期待していましたが、実際はレクチャーが中心で少し期待とは違いました。

MATH110 Math for Life(3 単位)

履修した先輩	成蹊大学 経済学部 現代経済学科の先輩
授業形式	レクチャー
クラス規模	約 50 人
評価方法	宿題 25%+試験 2 回(各 25%)+期末試験 25%
どんな授業？	数学の基礎的な内容を扱う授業で、特に統計に関する内容は深掘りして学びます。
先輩の声	課題はやや多いように感じましたが、内容自体は高校数学を学んでいればそれほど難しくない印象でした。

先輩が感じた、サンディエゴ州立大学の授業のここがすごい！

「日本の授業と比べて、ディスカッションや生徒から教授への質問の数は格段に多かったです。生徒の積極性はもちろんですが、それ以上に教授サイドが発言しやすい環境を作っているように感じました。」

「英語コンポジションのエッセイでは、自分の意見を述べず、記事の内容や知人へのインタビューを中立的な表現で比較して書かなければならないのが大変でした。普段普通に使っていた言葉も「意見」と判断され、表現を覚えるのに苦労しました。」

「キャリアの授業のプレゼンは台本を読めない発表だったので、内容の暗記が大変でした。ただ日本語のプレゼンでは台本を読まないのと同じようにやろうと努力した結果、英語のプレゼンでも日本語と同じように自信をもって発表できるようになりました。」

—— 2025 年秋派遣・成蹊大学の先輩

※本ページの内容は 2025 年秋派遣生の留学レポートに基づいています。開講科目・評価方法・単位数は変更になる場合があります。成績・得点はレポート提出時点のものです。